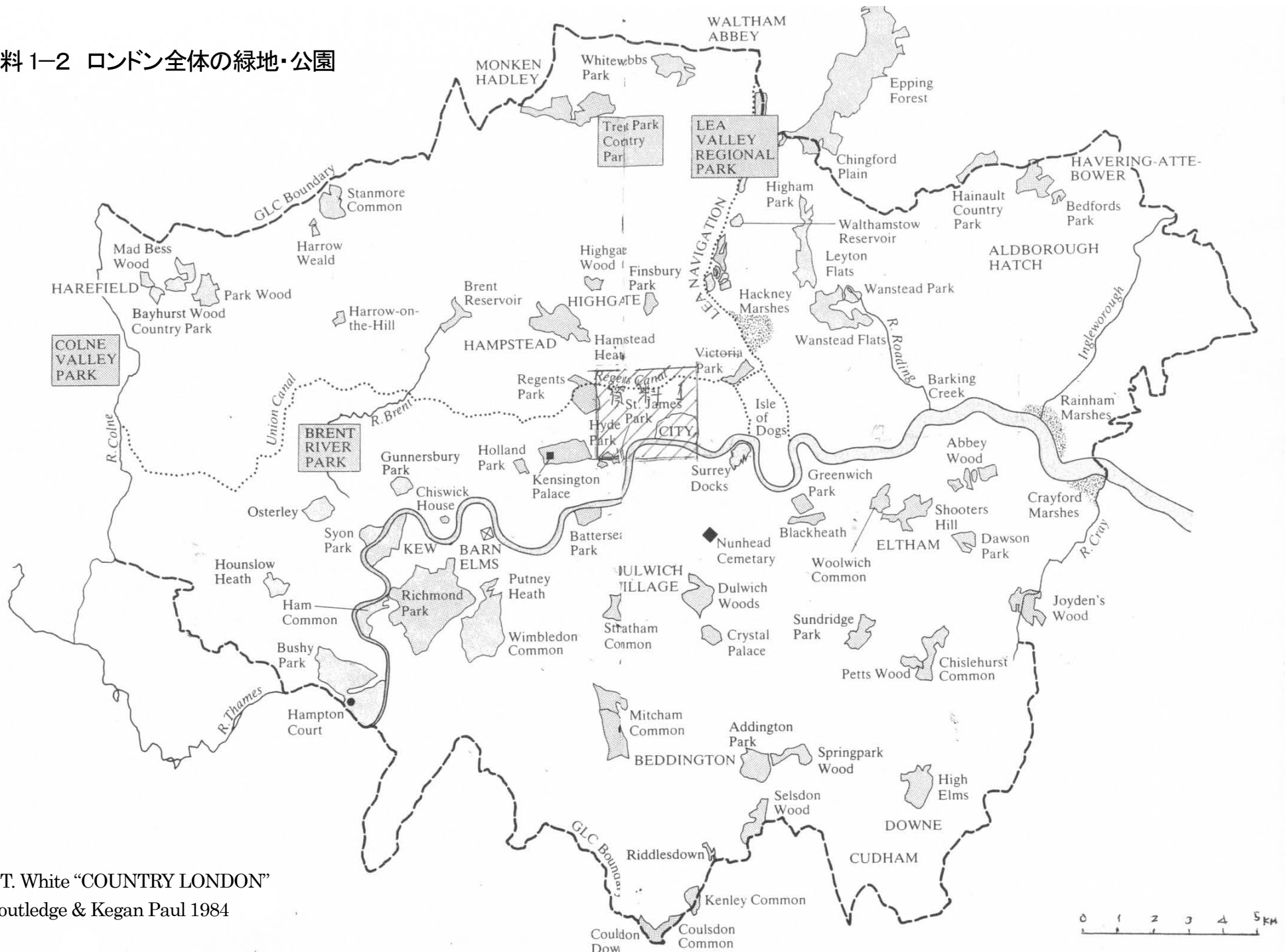


Ordnance Survey ROAD ATLAS of G.B. 1986

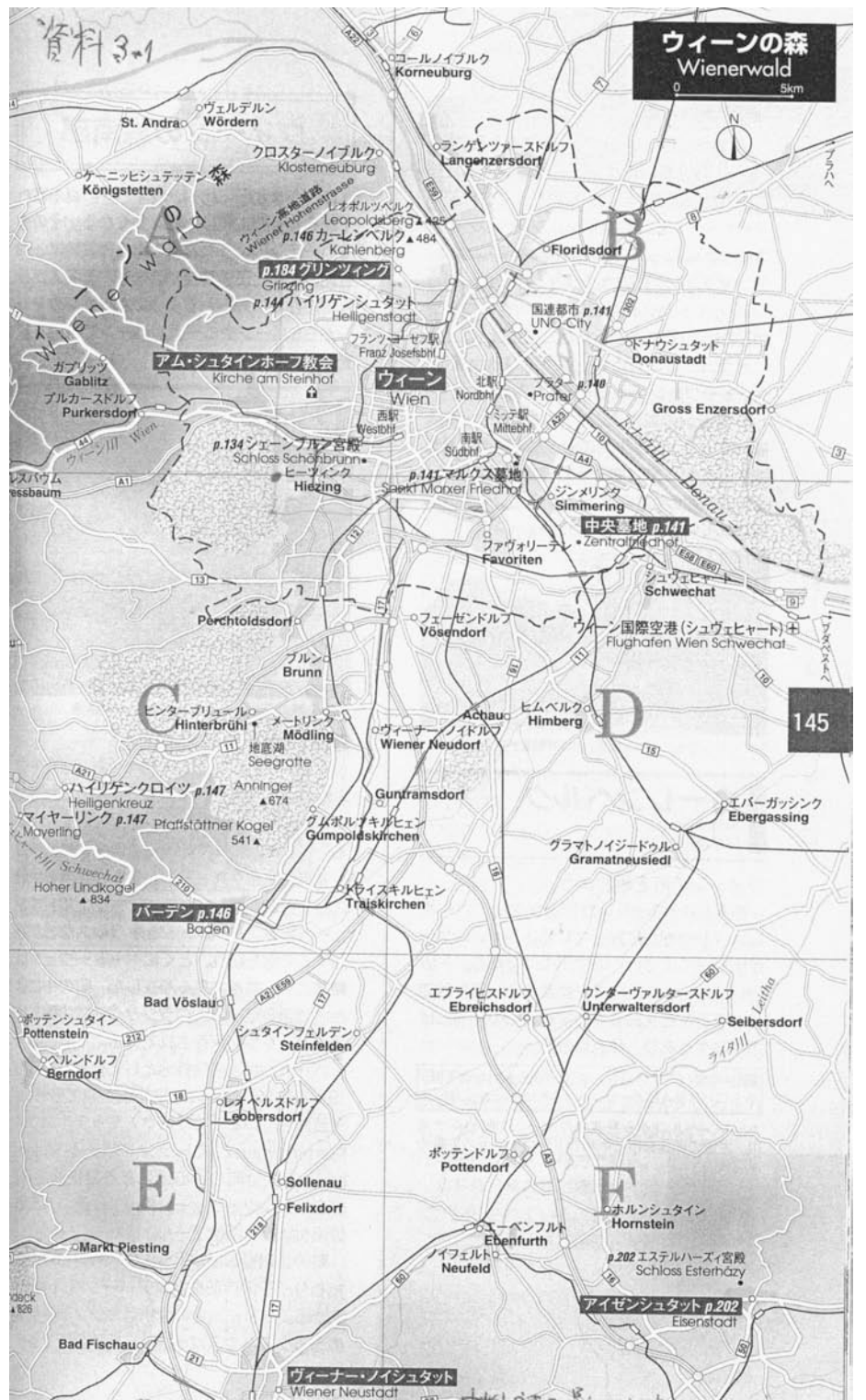
資料1-2 ロンドン全体の緑地・公園



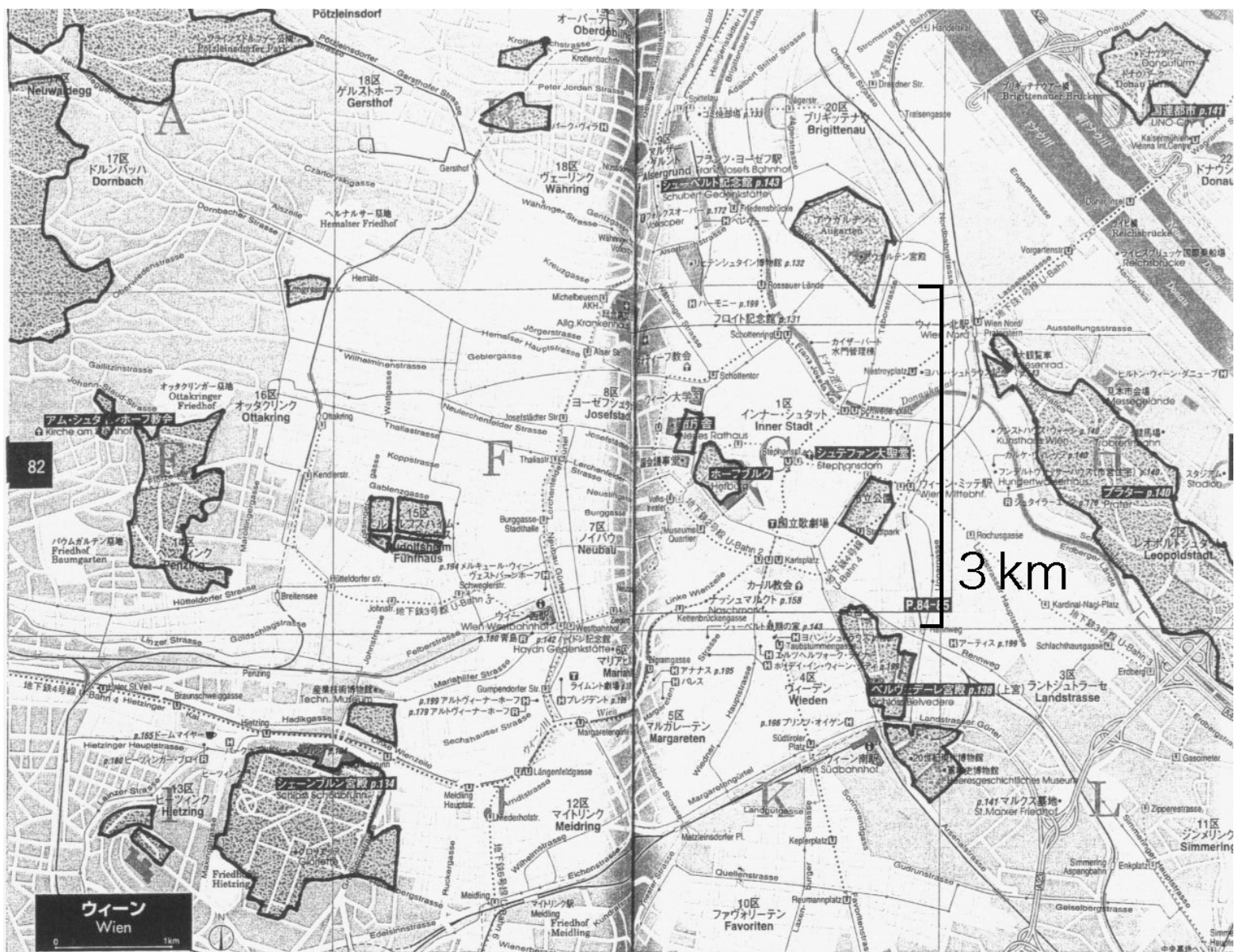
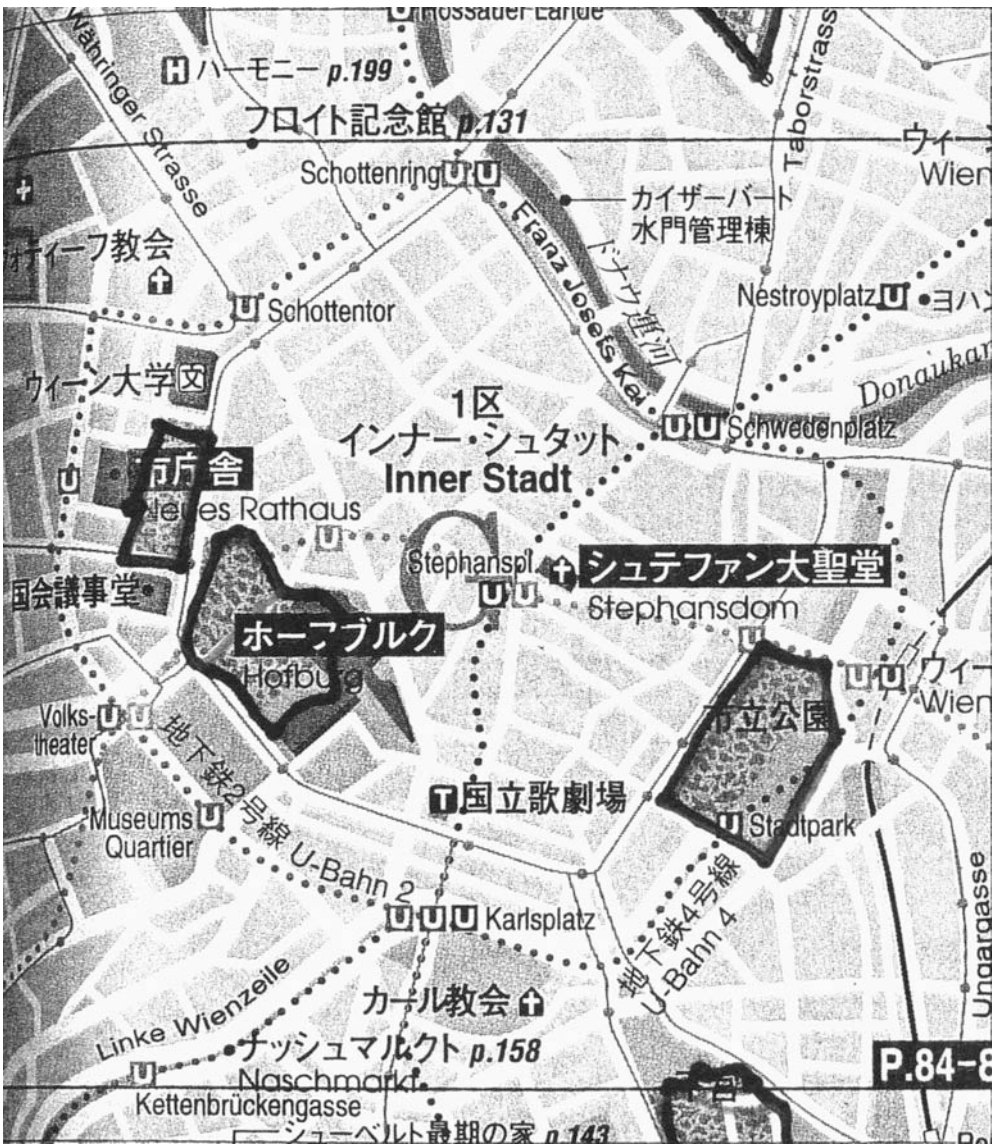
J.T. White "COUNTRY LONDON"  
Routledge & Kegan Paul 1984



資料2-3 ウィーンの森



資料2-1 ウィーン中心部の緑地・公園(資料2-2の部分)

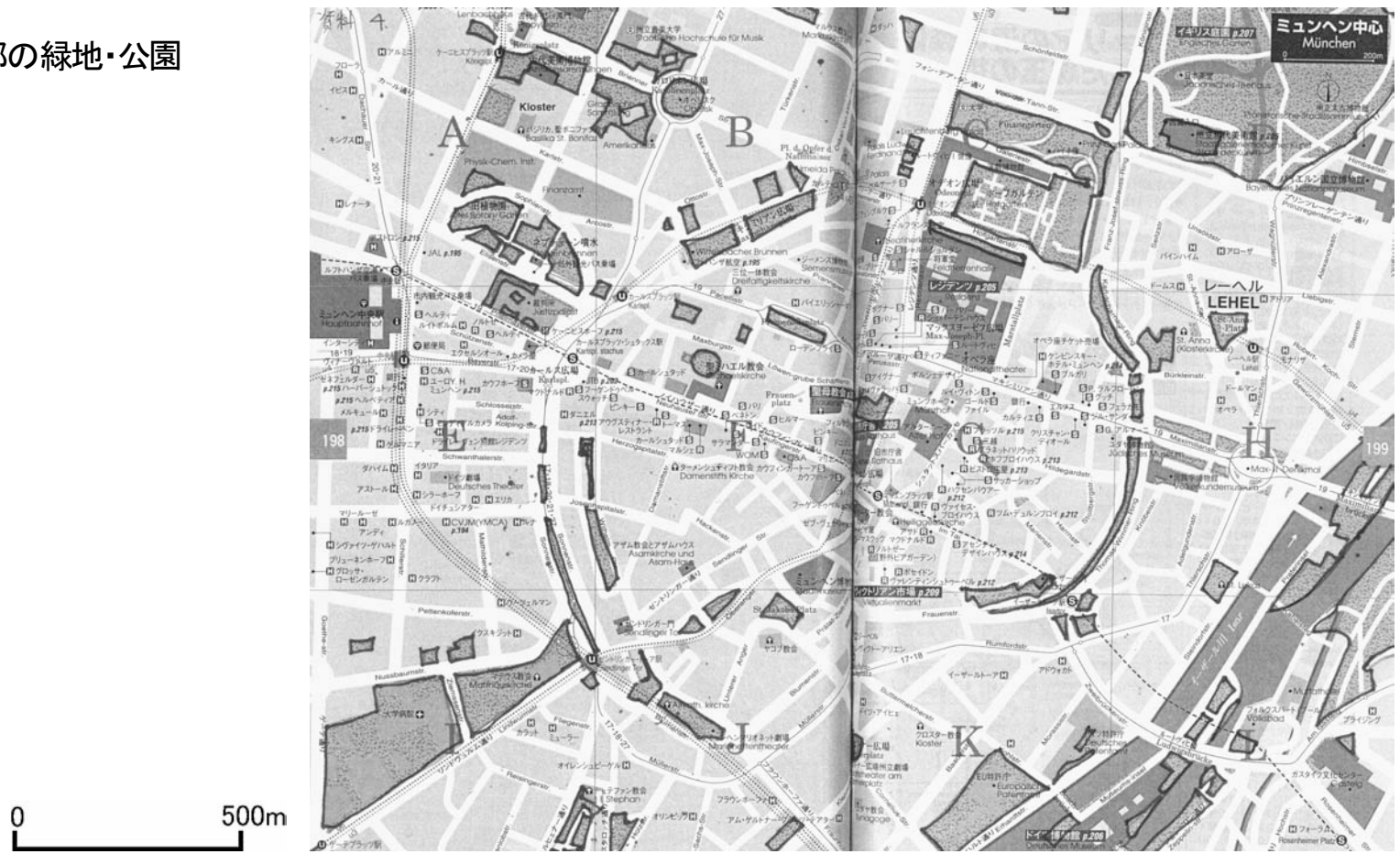


資料2-2

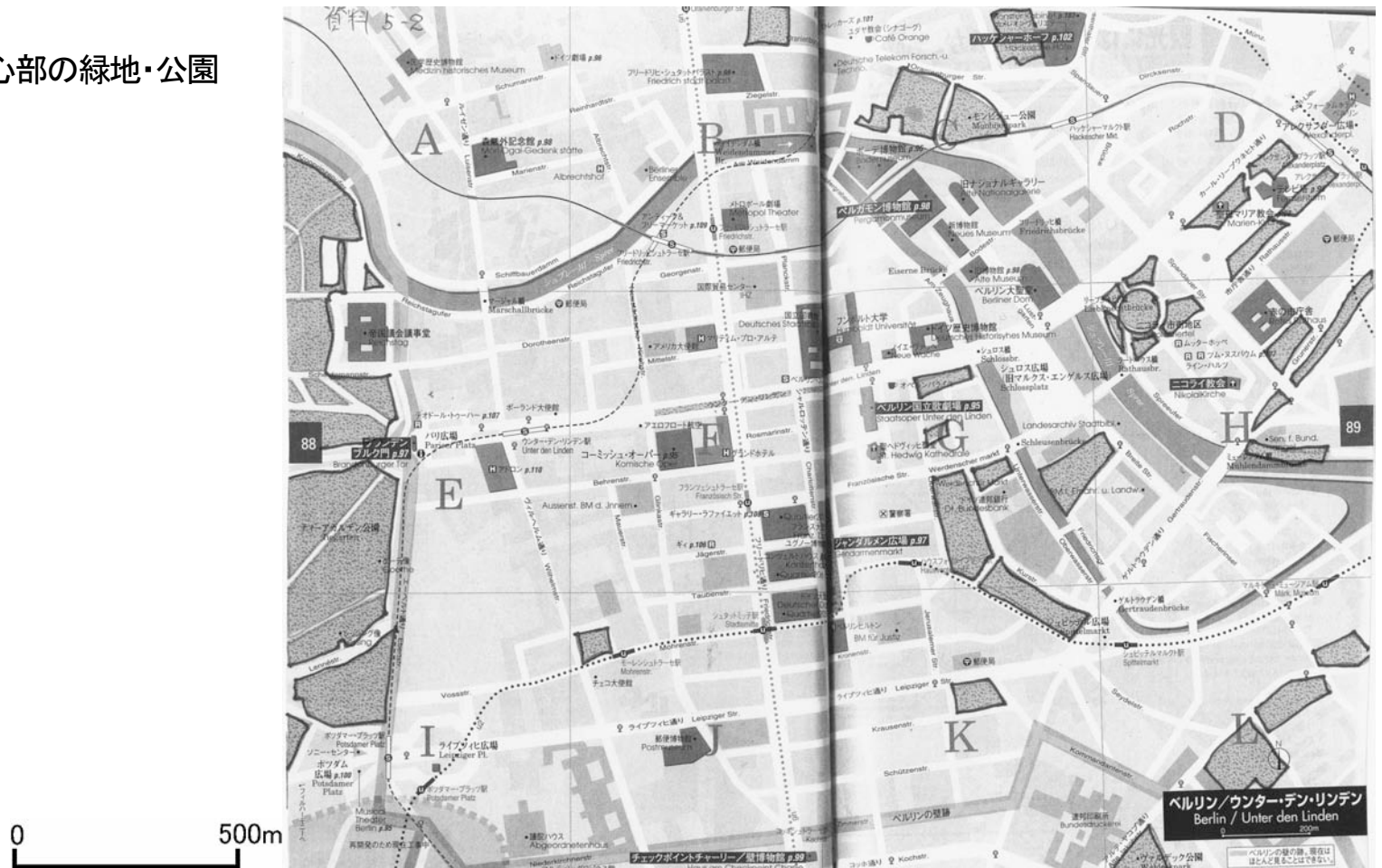
出所：資料2-1、2-2、2-3 『わがまま歩きオーストリア2005』実業日本社



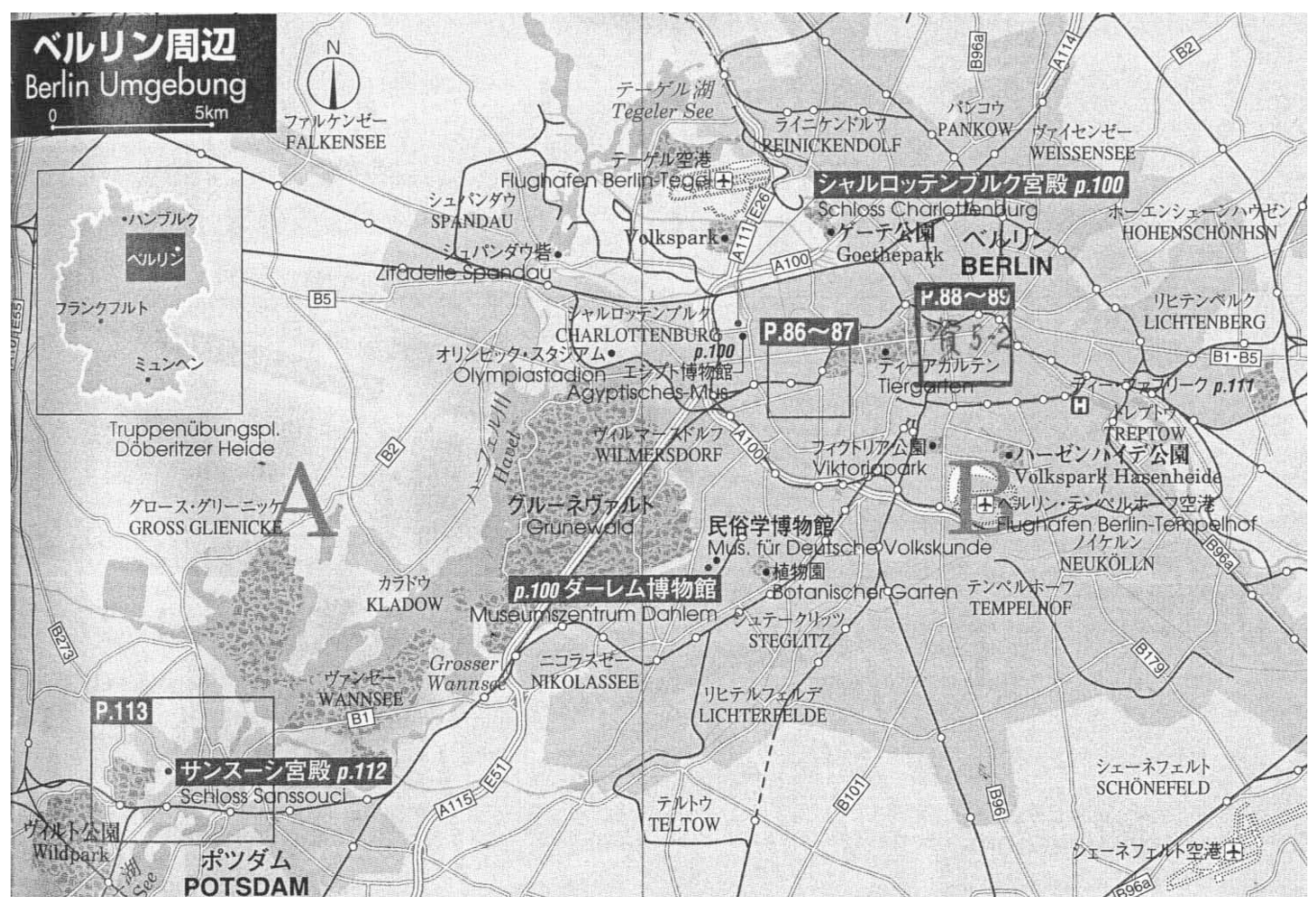
資料3 ミュンヘン中心部の緑地・公園



資料4-1 ベルリン中心部の緑地・公園



資料4-2 ベルリンの緑地・公園

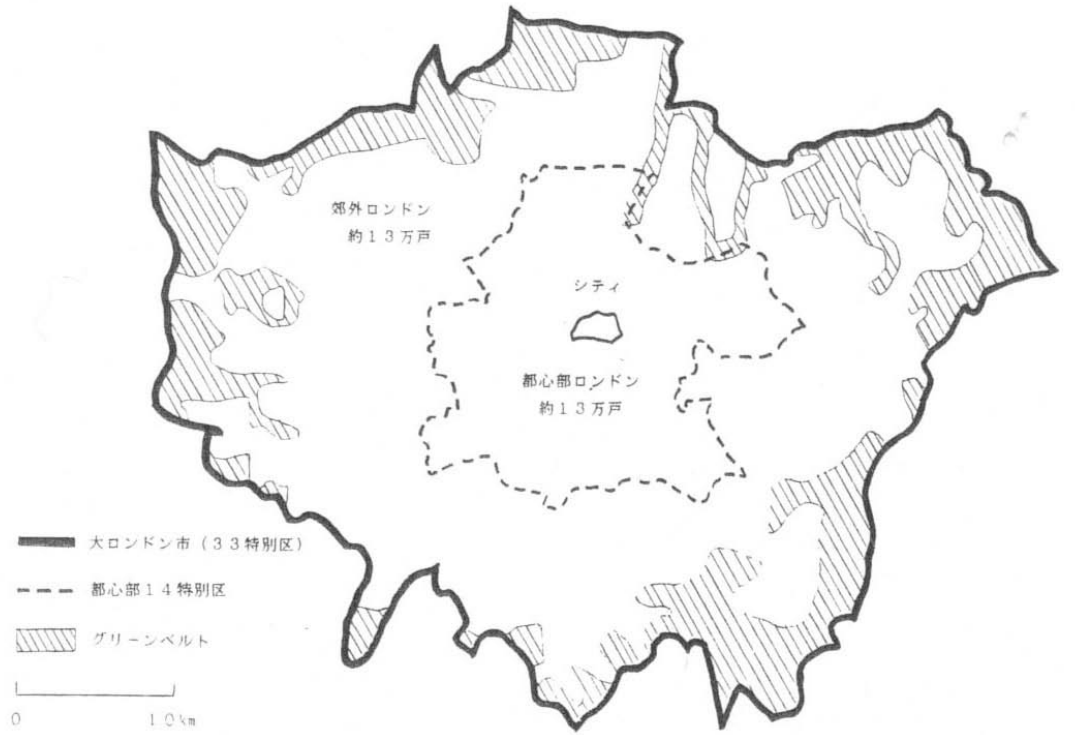


資料5-1 レッチワースとイギリスのニュータウン



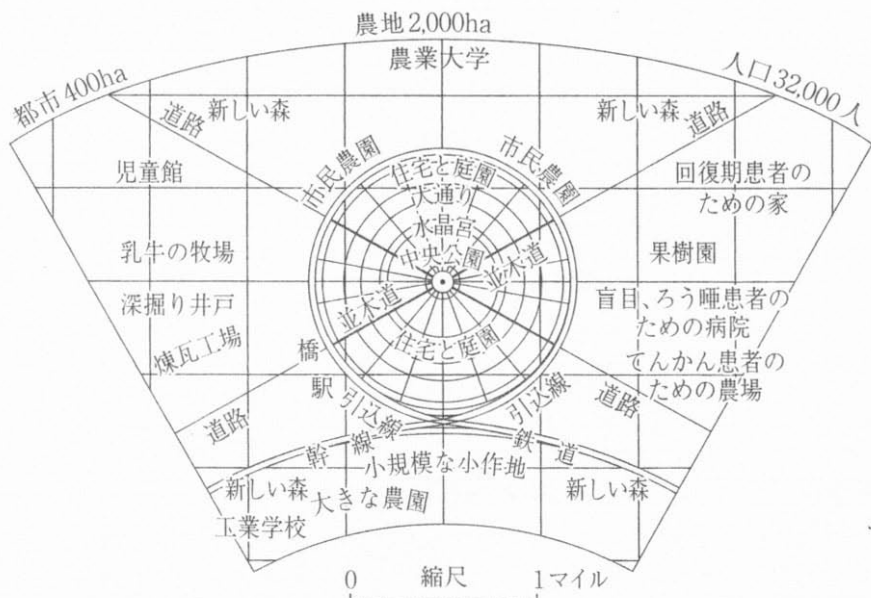
資料5-2 ロンドンのグリーンベルト

ロンドンの住宅建設計画とグリーンベルト (1987-2001年)



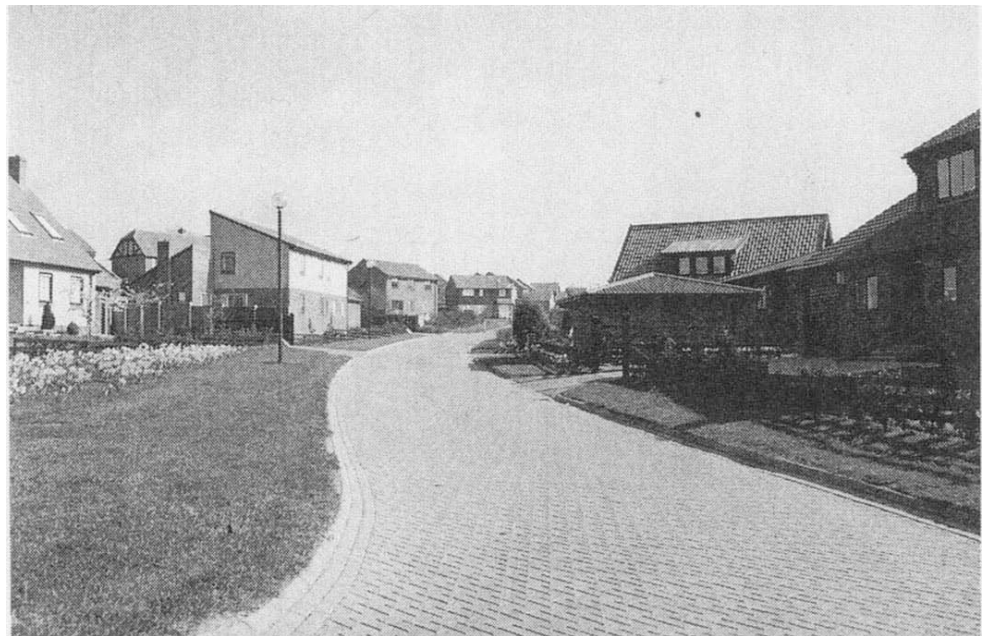
資料5-3 レッチワースのモデル

ハワードが構想した田園都市のモデル



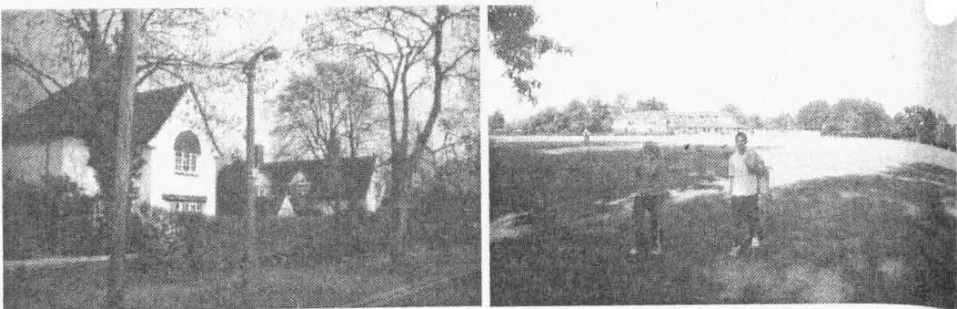
資料: E・ハワード『明日の田園都市』  
訳: 三浦展

資料5-5 郊外型住宅地



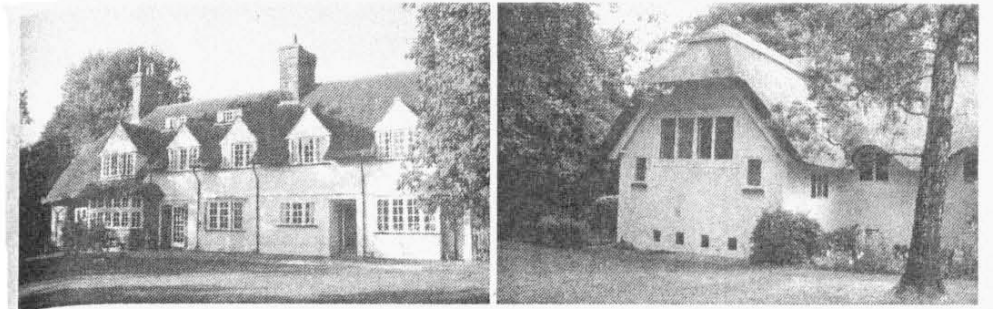
住宅街のレイアウトには様々な工夫が凝らされています

資料5-4 レッチワースの住宅



A レッチワースの街並み

B 中学校の校庭



C 中学校の宿舎。元はアンウィンの自邸

D レッチワース・ミュージアム。元はアンウィンらの設計事務所



E レッチワースの中でも有名な家 F コーポラティブハウス



G タウンハウス

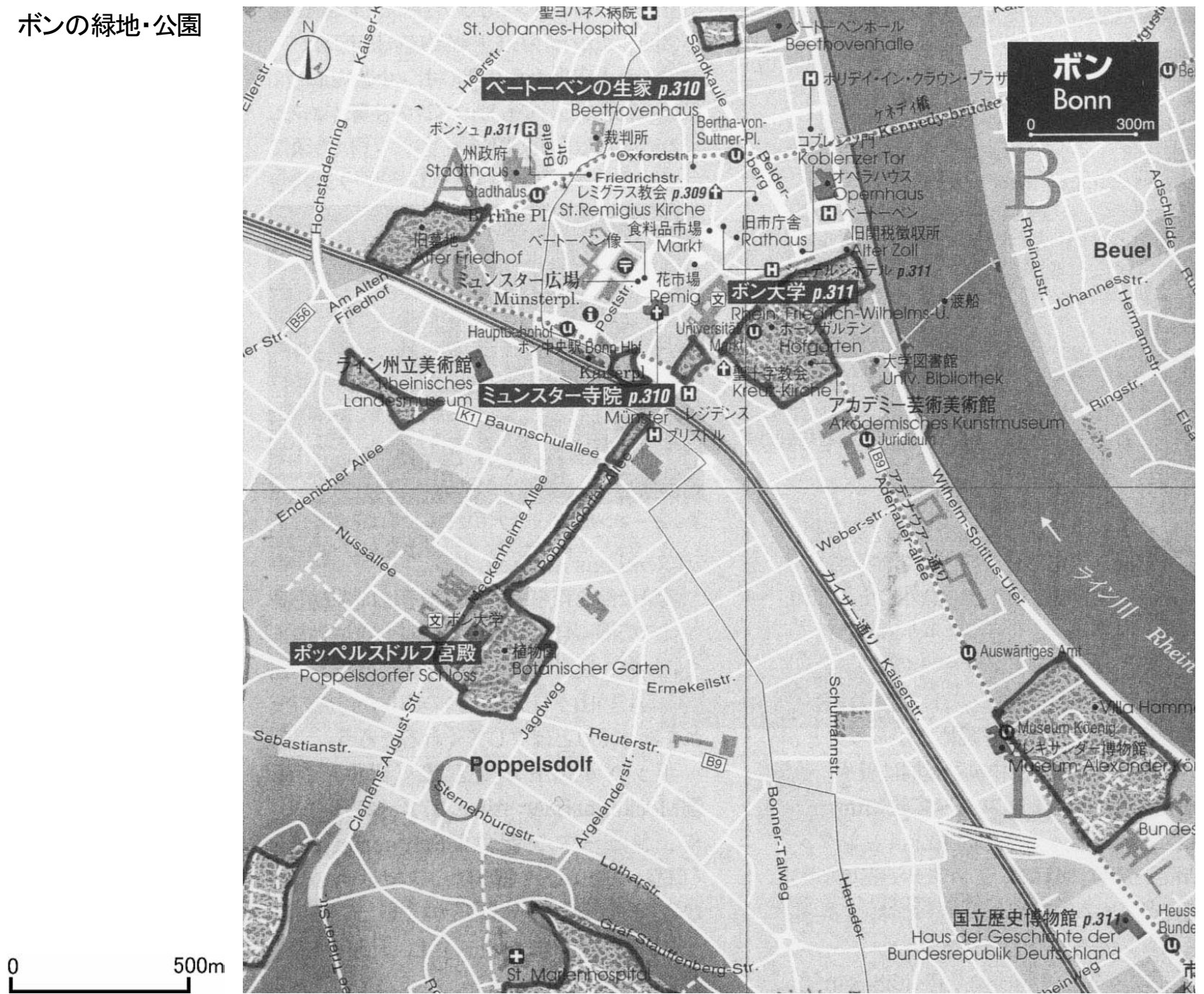
H レッチワースのモデルのひとつ。カーギー

出所: 資料5-1、5-2、5-5 赤井裕司『英国の国土政策』、住宅新報社、1990 (p75、p171、p74)

資料5-3、5-4 三浦展『郊外はこれからどうなる?』、中公新書ラクレ、2011 (p159、p160・161)



資料6 ボンの緑地・公園



資料7 東京の大規模住宅開発と郊外

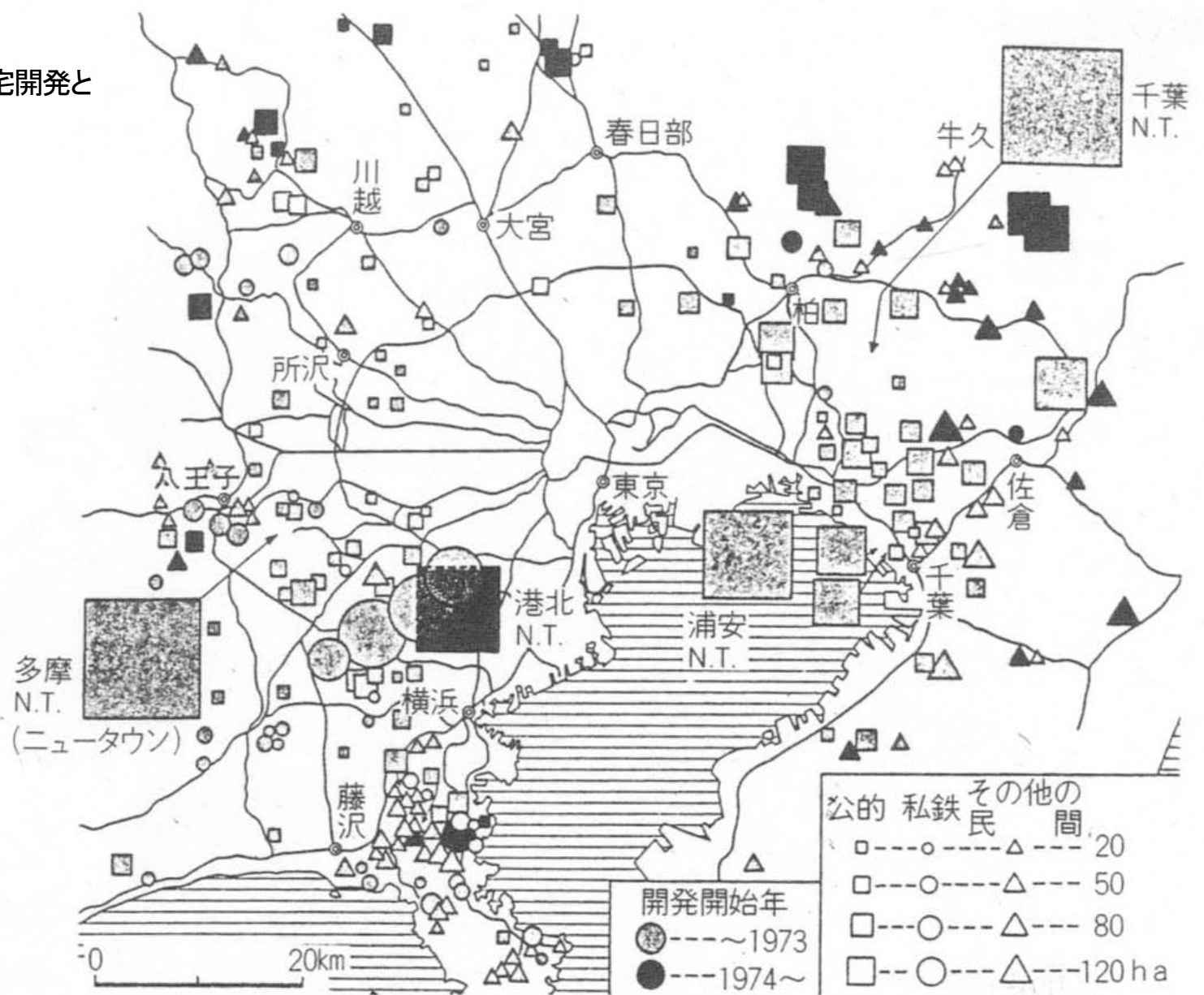


図9-5 東京大都市圏における大規模住宅地開発（20 ha 以上）の分布  
 (出所) 本文註 14) の資料より作成。 松原宏『不動産資本と都市開発』p.175、ミネルヴァ、1988

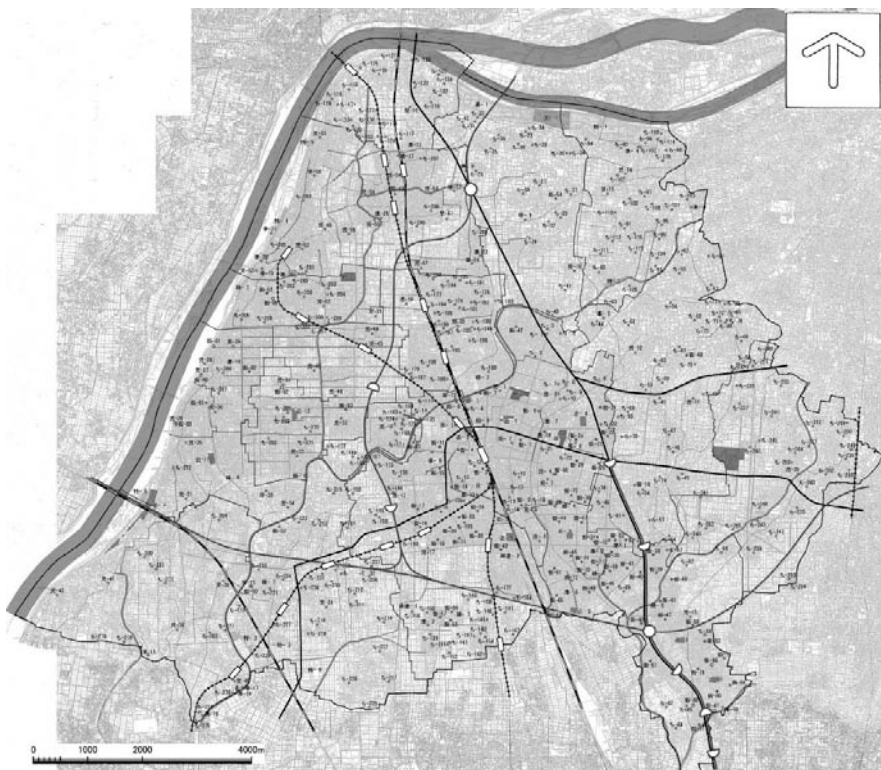


参考①:一宮市中心部の緑地・公園 (各都市中心部の緑地・公園分布図と同一スケール)



(出所:一宮市広域観光ガイドマップ)

参考②:一宮市の緑地・公園 (資料1-2 ロンドン全体図と同一スケール)



(出所:一宮市緑の基本計画)

<都市公園の整備量 平成20年3月31日現在>

公園種別		箇所数	都市公園面積 (ha)		人口1人当たり面積 (㎡/人)	
都 市 公 園	街区公園	84	25.07	(13.3%)	(1.0)	0.65
	住区基幹公園	12	18.20	(9.7%)	(2.0)	0.47
	近隣公園	4	21.84	(11.6%)	(1.0)	0.57
	地区公園	1	35.60	(18.9%)	(1.0)	0.93
	都市基幹公園	1	24.10	(12.8%)	(1.5)	0.63
	総合公園	5	25.05	(13.3%)		0.65
	特殊公園	3	0.22	(0.1%)	(1.5)	0.01
	緑道	10	3.15	(1.7%)		0.08
	緑地	120	153.23	(81.3%)		
	小計	1	20.40	(10.8%)	(2.0)	0.53
国営公園	121	173.63	(92.1%)	(10.0)	4.53	
計	26	14.88	(7.9%)		0.39	
準ずる施設	緑地・緑道等	147	188.51	(100.0%)		4.92
合計						

※人口1人当たり面積の( )内の数値は「都市公園等整備緊急措置法及び都市公園法の一部を改正する法律の施行について」(建設省都市局長通達)で示された都市公園の整備標準である。  
 ※人口1人当たり面積の算定に当っては平成20年4月1日現在の人口を用いた。